



「野菜等販売ロッカー」を「RE-CREATE BASE」敷地内（駐車場側）に設置しています。地産新鮮野菜等の販売・購入に、是非ご活用ください。

お問合せ：油木協働支援センター

本年度の「ゆき軽トラ市」も、「お墓参り」（お盆・彼岸）時期には生花を求めて多くの方が買い物に来られました。

「お墓参り用の生花」と共に、来客の「おもてなし・お土産用の特産物（神プレミアム等）」が気軽に購入できる環境があれば良いですね。

11月12日（水）、来見小学校6年生（10名）が化石館を見学しました。

子どもたちは、松岡分室長の説明を聞いて熱心にメモを取り、展示ケースを覗き込んだり実際に化石に触れながら、理科「大地のつくりと変化」のまとめとして、化石館の本物教材を通じて学校での学習を更に深めることができたようです。



来見小学校 感想（抜粋）

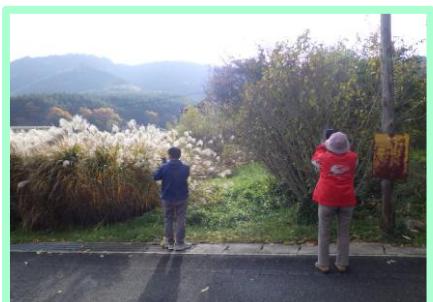
- 実際に化石や鉱石を見た。想像していたものより、はるかに迫力があってすごかった。
- 博物館などに行かないで、実際に見た事がなかったのですごく新鮮でした。
- 化石を見るために、もう一度行きたいと思いました。楽しく勉強になった時間でした。
- 化石館へ入った瞬間に、いろいろなもので埋め尽くされていてすごいと思いました。化石や鉱石にすごく魅力を感じました。
- いろいろな勉強に役立つものを見られたので、また詳しく調べていきたいです。



11月18日（火）、菊地永史先生の指導で「スマホ写真教室③」を開催しました。既習学習（構図）を踏まえながら「光」をテーマにして、全体構図の中から特に被写体を意識（ピックアップ）して撮影する技法を学びました。

屋外で晩秋の景色を撮影した後、「陰陽」を意識した写真を互いに交流することができました。

さいしょのスマホ de 写真教室③



「油木のちょっといい話」募集中！「心温まる話題」等、地域の「コーススを共有して元気を出しませんか？」

情報を待っています！

第6回ゆき軽トラ朝市

11月15日（土）、第6回「ゆき軽トラ朝市」を開催しました。

今回は、店頭に並んだ白菜・水菜・大根等の鍋料理用食材が販売早々すぐに売り切れ、また、焼き芋の販売も行われる等、暖かい日差しの中にも冬の季節を感じることができました。今年最後の「朝市」も馴染みの顔で賑わいました。



ゆきの灯り

第107号

令和7年12月発行
油木協働支援センター
TEL 82-0701
FAX 82-2228

生涯学習マスコット：マナビィ



「にしかわ化石館」で本物体験学習

10月29日（水）、油木高校の児童・生徒が「にしかわ化石館」で本物体験学習を行いました。

来見小学校・油木高校見学

10月29日（水）、油木高等学校3年（7名）が化石館を訪れ、発掘・展示されている化石から、地域の歴史や地形と共に発掘者の西川功氏の功績などを学びました。

化石館運営・地域資源活用等についても、高校生の視点でのアイデアがもりえればうれしいですね。



アートクラブ④

11月17日（月）、若林佐都子先生の指導で「アートクラブ④」を開催しました。

今回は来年の干支である「うま」をテーマに、年賀状用の「イラストはんこ」や「文字はんこ」作りに挑戦しました。下絵に丁寧に彫刻刀を入れ、色を重ねて刷ると個性的な作品に仕上りました。

十二支が揃うのは、いつでしょうか？



毎日食べても飽きないパン、作りませんか？③



11月11日（火）、平田サヱ子先生の指導で「パン教室③」を開催しました。

第3回は「イングリッシュコマーフィン」「ピーネンステッヒ」作りで、1個あたりの分量をグラム単位で丁寧に量りながら成型していました。家庭でも美味しいパンが焼けそうです。

今回も、受講生全員で協力しながら、楽しい活動ができました。

11月のゆきキッズ

この秋も多様な内容の教室が開催されました。多くの体験が思い出となりますね。

■自然を楽しむ会（11月1日）
講師：赤木健二先生・ふるさとハッパのな
かまの会のみなさん

権現山「ハ幡神社ルート」を散策しました。途中、石仏を見たり、熟した柿を食べたりしながら、油木の「秋」を体感して楽しむことができました。

■楽描教室③（11月15日）
講師：若林佐都子先生

紙粘土で来年の干支「うま」を半立体に作り、色紙を貼った台紙に飾り付けました。白色の「うま」が浮き上がり、楽しい作品に仕上りました。

■しめ縄作り教室（11月22日）
講師：赤木恵先生・前原一始先生

恒例の「お正月用しめ縄」作りに挑戦しました。藁束を足で押さえ、両手を使って藁を縋り、眼鏡型のしめ縄に組みました。紙垂や紙飾りを付けて完成です。

「地域づくり部会」合同研修会開催 (移住促進・空き家対策部/地域情報部)

調査によると、令和32年には総人口・総世帯数ともに概ね半減するを見込まれており、空き家等の大幅な増加が懸念されています。多くの課題がありますが、地域・行政共に現実を踏まえて地に足が着いた連携を図っていくことが必要と考えます。

10月22日（水）、「地域づくり部会」合同研修会を開催しました。今回は、未来創造課より松井和寛専門員・赤迫瑠奈コミニユーティマネージャーを講師に招き、「町内の空き家状況・課題」をテーマに、豊松地域での実践事例等を含めた話を伺いました。



— 地元の声も届けば良いですね —

「いちは」地域の写真を探しています！



地域情報部（地域づくり部会）では、「いちは」地域の景色を次世代に遺すため、主に昭和30～50年代の「いちは」地域の写真・データ等の情報を募集しています。

ご家庭に保存されている写真・データ等があれば、是非ご提供ください。

お問い合わせ：油木協働支援センター

JIN材センター（神石高原事業協同組合） 助け合い みんなで創る 地域の輪



町内の皆様

- こんな田舎では、働くところが無いから、帰ってこれない
- 田舎で子育てがしたい。でも働くところが。
- 田舎暮らしがしたい。でも仕事が。
- こんなお悩みをお持ちの方や知り合いにこんな相談を受けた方は、ぜひ一度お電話を。

お問い合わせ：JIN材センター（神石高原事業組合）

住所：〒720-1522 広島県神石郡神石高原町小富2025 電話：0847-81-0144

担当：岡崎 e-mail：kyodokumiai.okazaki@outlook.jp

1年間の作業イメージ

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
職員A 農業（育苗）						農業（トマト）			宿泊施設		
職員B 農業（ブリ）							農業（苗床）				
職員C 農業（下野、ブリ）								販売品小売業			
職員D その他 農業（養鶏場）						農業（トマト）			機械器具小売業（自動車）		

私たち、町内のいろんな派遣先（職種）へ行っています。

農業、農業サービス、食品加工、介護、温浴施設、畳の製造、小売業、自動車整備など、

JIN材センター（神石高原事業協同組合）に加入して頂いている企業等（派遣先）へ行きます。

現在の組合員数：16社 現在の派遣員数：5名（男2、女3）

私たち、神石高原町の労働力不足と地域コミュニティの一扱い手不足を解消したいと考え日々、派遣先で作業に取り組んでいます。

私たち、地域の発展を第一に考えています。
(JIN材センターへの相談はいつでもOKです。)

JIN材センターへ加入をお考えの方
(企業様)

JIN材センターへ就職希望の方

- JIN材センターへ加入をお考えの方や企業様
- 町内で仕事をされている農家や企業（中小企業）の方
- 人材不足解消に向け、我々と一緒にやっていきませんか？

- JIN材センターに就職を希望の方は、いつでもご連絡ください。
- U.I.Jターンをお考えの方大歓迎。
- 地元の方もご連絡ください。
- 一緒に神石高原町を盛り上げてまいりましょう。

今回の紹介記事をきっかけに、新たに「化石・鉱石」に興味・関心を持った来館者が増えることを期待します。（10月1日号に掲載されました。）

同誌は、備後地方（岡山県西部含）を中心に月3回発行される「情報」誌（福山市）の取材がありました。

「にしかわ化石館」PR



年末年始「お休み」のお知らせ

■油木協働支援センター・分室「にしかわ」・にしかわ化石館

令和7年12月27日(土)～令和8年1月4日(日)

ご理解・ご協力をよろしくお願ひします。

本年も大変お世話になり、ありがとうございました。
来年もよろしくお願ひします。

どうぞ良いお年をお迎えください。



-「らしさ」を生かそう！- (参考：秋田県教育委員会・秋田県教育庁生涯学習課「家庭教育支援ガイドブック」)

「らしさ」を生かそう！「認めて・ほめて」がやる気の源

ほめられることは心の栄養になります。その子らしさを認めてあげれば、安心感とともに小さな満足感が生まれ、自分を大切にするようになります。子どもが自分から「～したい」と言ったときがチャンスです。子どもの「自分でできた！」を大切にして、見守り励ましましょう。

- 保護者の励ましや応援は子ども力になります -

小学生でも中学生でも、保護者から「励まし・応援」などの働きかけを受けている子どもは、将来の目標をもち、行動力を身に付けるようになります。逆に、「何でも口出し」されている子どもは、「自分でできることは自分でできる」との比率が低くなる傾向があります。

親がさせるのではなく、子どもの「自分でできた」を大切にしましょう！

★地域で子どもを見守り育てましょう（油木協働支援センター）

-「やらせられてる感」より「やってる感」！-

ほめる内容は当たり前のこと

・今できていることを認めてほめましょう。

・その子自身の過去と比べて、伸びたことを見つけてほめましょう。

ほめる内容は当たり前のこと

・子どもの話をよく聞いて、信頼関係を築きましょう。

・タイムリーにほめられるように子どもの行動をさりげなく見守りましょう。

親ができる手助け

・どうしたらできるようになるか、どんなことをがんばるか、一緒に考えましょう。

・自分にできそうなものを子ども自身に選ばせましょう。

・ステップアップが少しでもできたら、ほめて励ましましょう。

・決めたことを達成できたら、がんばった子ども自身をほめましょう。

